



イ14
A 125
13

第百七十八号



千八百七十四年十月十二日「ジャパン」ヘラ
 ルド新聞抄訳
 一週間高貴ナル支那官吏ノ告ケルニハ日
 本ノ臺灣占據一件ニ管セル日支兩國ノ争ハ平
 穩ニ決定シ交戦ノ恐アルナシト言ヘリ然レ
 氏此新報ハ北京ヨリ上海ニ在ル外國領事ニ公
 ケニ之ヲ通スルナク此際兩國ハ互ニ其兵備
 ヲ為シ恰モ斯クノ如キ商議ハアラサルカ如シ
 盖シ日本人ノ次第ニ應接ノ兵ヲ出シ且、其他
 ノ法方ニテ交戦ノ用意ヲ為スハ日本刷行諸新

大正十一年四月
 隈侯爵邸寄贈

ニ葉半



聞紙ヨリ摘抄セル余等カ「臺灣論說」ニ就キ以テ
之ヲ觀ル可ク又支那人ノ兵備ヲ為ス模様ハ殊
ニ鎮江府ニ在ル報告者ノ書翰ニ就キ以テ之ヲ
觀ル可シ但シ其書翰ニ曰ク

今朝「グレンカイル」号船ハ二千六百人ヲ載
テ臺灣ニ向ヒ上海造リ立テノ砲船ハ四百人
ヲ載セテ同地ニ向ヒタレハ臺灣ニ向ヒ人
數總計三千人ニ及ヘリ又更ニ三千人ハ近頃
雲南ヨリ着シテ當今鎮江府近傍ニ陣ニ不日
吳淞ニ向ヒ進發スル由又其他ノ兵ハ方今「キ

ヤンミン」ニ於テ造營最中ナル威大ノ陣營ニ不
日來着ス可キ由ナリ

ペン、ユ、リン氏ハ方今同所ニ陣ヲ張リテ頻リニ
人ヲ刎首セル由蓋シ同氏ハ下等及ヒ中等ノ者
ノ為メニハ大ニ尊敬セラル、ト雖モ其言詞ト
刀劍トハ官吏及ヒ收劍者ノ為メニハ強銳ナル
ニ過キ同地ノ文官ハ皆同氏ノ速カニ出立スル
ヲ冀望セル由ナリ

日本使節ハ九月七日北京ニ着シ其後チユニ、ホ

ウト應接セシカ此時双方共ニ憤怒ヲ發シ其討
論頗ル激烈ナリシト云フ依テ日支兩國ハ其述
フル所漸々激烈ニ涉互ニ之ヲ聽諾スルヲ得
サルニ及ヒ到底交戦ヲ防止スル能ハサルヲ分
明トナレリ然レハ此兩國間ノ争ヲ米國ノ裁定
ニ任カサントスルノ説アリテ兩國共ニ之ヲ以
テ紛紜鎮定ノ最良法ナリト思フモ亦敢テ計リ
難シ蓋シレゼンドル氏ノ論説ハ支那政府之
注意シ英学校ノ最上達セシ生徒五名ニ命シテ
之ヲ支那文ニ翻譯セシムル由ナリ

右「ジャンハイ、ビュゼット」新聞ヨリ抄出
ス

誤

算作權大内文